



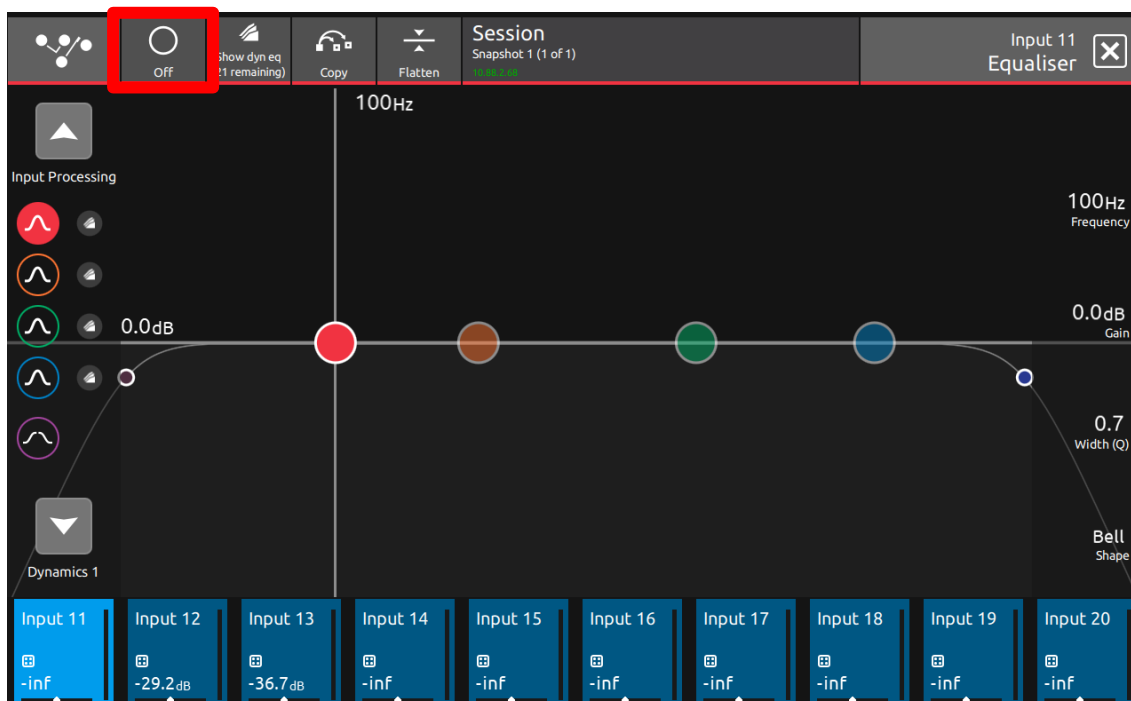
**S21/S31 Software V2.4 Release Notes (July 2019)**

**S21/S31 新機能**

**ダイナミックEQ**

設定されたスレッシュホールドに対する入力周波数のレベルに基づいて動的にEQ調整を加える機能。  
最大21チャンネルで利用可能。

「Equaliser」画面の「Show dyn eq」タブをタッチするとダイナミックEQ画面が開きます。EQバンドのダイナミクス・コントロールを一つ以上使用するとダイナミックEQ機能が有効になります。



上図赤枠のボタンを押すとダイナミックEQ設定画面へ切り替わります。

## V2.4 Release Notes

EQ バンドのダイナミクス・コントロール機能を有効にするには EQ バンド・アイコンの隣にあるダイナミクス・アイコンを押してください。

EQ バンドのステータスはダイナミック EQ 画面・標準 EQ 画面の両方から確認することができます。ダイナミクス・アイコンは、機能が無効な時はグレー、有効時には対応する EQ バンドと同じ色で表示されます。

また、各 EQ バンドのダイナミクス・パラメーターはスクリーン上でタッチ又はマスター・ロータリー・エンコーダーで調整することができます。EQ バンドが「under mode」の時はスレッシュホールドのスライド・コントロール上の矢印は左を指し、「over mode」の時は右を指します。各 EQ バンドのスライド・コントロールの右隣りにあるレベルメーターはそのバンドのレベルの増幅・減衰に合わせて変化します。



赤と緑の EQ バンドがダイナミック EQ で設定された画面の例。

The screenshot shows a channel strip rack with 10 channels. Each channel has a gain knob, a compressor, a gate, and auxiliary inputs. The first channel (Mic 1) has a gain of 0.0 dB, a compressor with a ratio of 3.0:1, and a gate. A red square highlights the dynamic EQ icon on the first channel.

Mic 1	Mic 2	Mic 3	Mic 4	Mic 5	Mic 6	Mic 7	Mic 8	Mic 9	Mic 10
0.0 dB	0.0 dB	0.0 dB	0.0 dB	0.0 dB	0.0 dB	0.0 dB	0.0 dB	0.0 dB	0.0 dB
20 Hz									
Comp 3.0:1	Comp 3.0:1	Comp 3.0:1	Comp 3.0:1	Comp 3.0:1	Comp 3.0:1	Comp 3.0:1	Comp 3.0:1	Comp 3.0:1	Comp 3.0:1
Gate	Gate	Gate	Gate	Gate	Gate	Gate	Gate	Gate	Gate
Aux 1 -inf	Aux 1	Aux 1	Aux 1	Aux 1	Aux 1	Aux 1	Aux 1	Aux 1	Aux 1
Aux 2 -inf	Aux 2	Aux 2	Aux 2	Aux 2	Aux 2	Aux 2	Aux 2	Aux 2	Aux 2
Aux 3 -inf	Aux 3	Aux 3	Aux 3	Aux 3	Aux 3	Aux 3	Aux 3	Aux 3	Aux 3
Aux 4 -inf	Aux 4	Aux 4	Aux 4	Aux 4	Aux 4	Aux 4	Aux 4	Aux 4	Aux 4
Input 1 -inf	Input 2 -inf	Input 3 -inf	Input 4 -inf	Input 5 -inf	Input 6 -inf	Input 7 -inf	Input 8 -inf	Input 9 -inf	Input 10 -inf

ダイナミック EQ を使用しているチャンネルストリップには上図の赤枠部にマークが表れます。

## V2.4 Release Notes

### オーバー・モード

モジュールへの入力信号がスレッシュホールドを超えると、EQ 調整（周波数および Q コントロールによって設定）が加えられ始めます。最大調整量は EQ バンド・ゲイン・コントロールによって決まり、スレッシュホールドを超えた後の EQ 調整の加え方は、「attack」、「release」、および「ratio」コントロールによって設定します。オーバー・モードは通常、特定周波数に対するゲイン・リダクションとして、スレッシュホールドに達した時にその周波数のレベルを緩やかに下げる形で使用します。例えば、ボーカルが声を張り上げた時の声の音色の変化を抑制するといった使い方が可能です。

### アンダー・モード

アンダー・モードでは、モジュールへの入力信号がスレッシュホールドより低い時に、最大の EQ 調整量（周波数、Q コントロールおよびバンド・ゲイン・コントロールによって設定）を加えます。信号レベルがスレッシュホールドに近づくに従って EQ 調整量が少なくなり、スレッシュホールドに達すると調整量がゼロになります。EQ 調整量の減少は、「attack」、「release」、および「ratio」コントロールによって設定します。

**Threshold** : EQ を加え始めるスレッシュホールドを設定します。

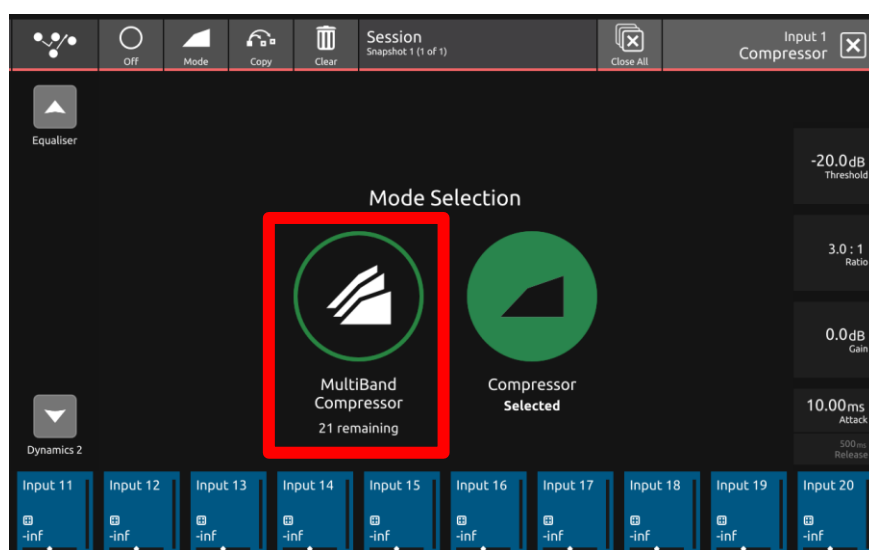
**Attack** : スレッシュホールドを超えたレベルに対するダイナミック EQ モジュールの反応速度を調整します。

**Release** : レベルの低下に対するモジュールの反応速度を調整します。

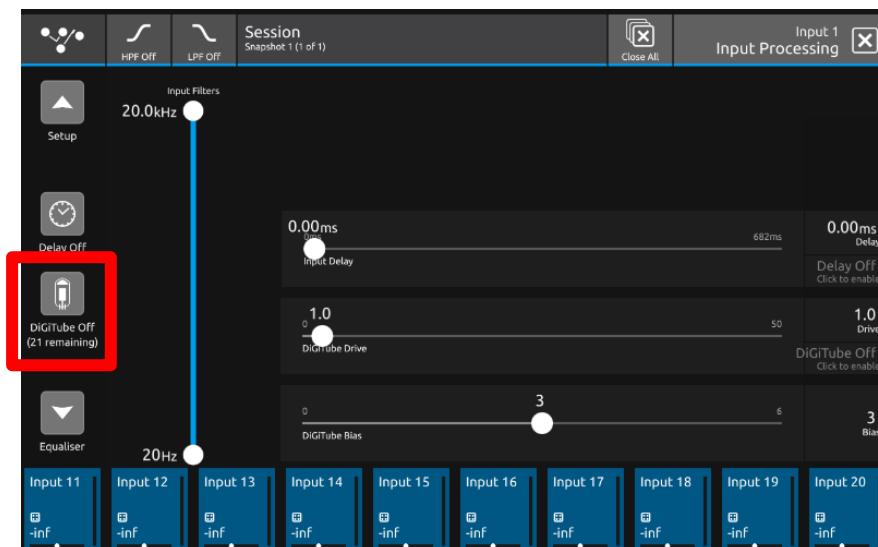
**Ratio** : スレッシュホールド・レベルを超えてから最大調整量に達するまでの時間を調整します。

### マルチバンド・コンプレッサーと DiGiTube スロットの追加

V2.4 よりマルチバンド・コンプレッサーと DiGiTube がそれぞれ 21 チャンネルまで使用可能になりました。（V2.3 以前では 4 チャンネルまで）



## V2.4 Release Notes



### S21/S31 バグフィックス

- スナップショットの変更で AUCX アウトプットのルーティング設定が消える。

スナップショットで AUCX アウトプットのルーティングをアップデートすると、保存していたルーティングの設定が消えてしまう。

- マスター・ミュートが無効のセッションファイルをロードするとマスター・フェーダーが無効になる。

マスター・ミュートボタンを無効の状態にして保存したセッションファイルをロードするとマスター・フェーダーが無効になってしまう。